



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION Y'S MEN'S CLUBS
REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

CHUBU

国際会長主題	「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長主題	「100年を越えて変革しよう」
西日本区理事主題	「未来への挑戦」
中部部長主題	「楽しくやろう、ワイズの活動、地域とYMCAと共に」

2021～2022年度 中部部報 第一号

「これから一年よろしくお願ひします」

「若者」「現場」「国際」を大切に

中部部長 渡辺 真悟

ワイズの新年度が始まりました。今年度の中部部長を勤めさせていただくことになりました名古屋クラブの渡辺真悟です。どうかお支えいただきます様よろしくお願ひします。

今期の中部は「楽しくやろう、ワイズの活動、地域とYMCAと共に」を部長主題に掲げ、そのために「若者」「現場」「国際」の三つを大切にしていきたいと思ひます。

若者とはYMCAのリーダーやスタッフです。その人たちともしっかり仲良くなって良くサポートをしてあげて下さい。その一環として今期は部会を名古屋YMCAとユースリーダーの協力を得てYYYフォーラムとの共催として9月11日(土)に名古屋YMCA日和田キャンプ場で行います。まずはこのキャンプ場で開催される中部部会の実行に力を貸してください。このコロナ禍に屋外で三密を避けながらYMCAとの交流を深める良い機会ですが手作りでやらなければいけない部分も多くなりお手伝いが必要です。是非多くのおみなさんの積極的参加とご支援をよろしくお願ひします。

現場とは各クラブが行っている地域・環境奉仕活動の現場です。どのクラブも特色のある地域奉仕活動やYMCAのサポートなどを行っていただいています。その現場を大切に活動の輪が広がりさらに会員の輪も広がればすばらしいと思ひます。

国際・交流は昨今のコロナ禍で思うように交流活動が出来ませんがリモート会議を活用してIBCそしてDBCも交流を進めていただきたいと思います。

中部は会員の減少が続いていて現在84名。昨年度は残念ながら津クラブが解散し29年の活動に幕を閉じられました。他にも会員数が少ないとか高齢化が進んでいるクラブもありますが、どのクラブも個性があり特色ある活動をされています。そのクラブがこれからも発展して続く為に外から見て魅力ある活動をするボランティア団体を目指していただきたいと思います。とにかくこれから一年間 明るく楽しくよろしくお願ひします。



2021～2022 年度 中部役員

部 長	渡辺 真悟 (名古屋)
直前部長	早川 政人 (名古屋グランパス)
次期部長	山内 ミハル (金沢)
書 記	川本 龍資 (名古屋)
会 計	戸田 真二 (名古屋)
事務局長	谷川 修 (名古屋)
直前監事	柴田 洋治郎 (名古屋東海)
監 事	小林 滋記 (名古屋南山)
担当主事	遠山 恵理 (名古屋)

2021～2022 年度 クラブ会長

金沢	山内 ミハル
名古屋	平野 実郎
名古屋東海	山田 英次
名古屋南山	荒川 文門
名古屋グランパス	服部 庄三
とやま	清水 淳

2021～2022 年度 事業主査

Yサ・ユース	坂口 功祐 (名古屋グランパス)
地域奉仕環境	清水 淳 (とやま)
EMC	太田 全哉 (名古屋東海)
国際・交流	平野 実郎 (名古屋)
メネット	数澤 淑子 (金沢)

中部情報委員会委員長

荒川 恭次 (名古屋グランパス)

ワイズ起こし委員長

柴田 洋治郎 (名古屋東海)

西日本区代議員

早川 政人 (2020-21 年度中部部長)
渡辺 真悟 (2021-22 年度中部部長)

※中部各クラブ会長※

金沢クラブ会長 山内 ミハル

善き隣人として社会に 奉仕 -YMCA活動充 実のため支援を-



金沢クラブはコロナ感染症のため、活動計画の多くが中止となる一方、会員の1名が逝去、1名は事情により退会となったため、会員数2人減少の中でのキックオフとなりました。平均年齢は年々上がる一方、このままいけば解散を余儀なくされる日も近いのでは……と、懸念されます。

70 余年続いてきた金沢クラブを私たちの代でつづすわけにはいきません。今迄は自分たちが楽しければいいと考えていたことを反省。若い人たちが魅力とを感じる活動を目指し、地域への認知度を高める努力をしなければならないと考えます。そのた

めまず奉仕活動に力をいれたいと願い、会長主題を「奉仕活動の輪を広げよう」としました。そこで新しくこども食堂の無かった地域でこども食堂を始めようとしているグループに協力することにしました。また、2年前ひとり親家庭のためのデイ・キャンプをしたことから、シングルマザーの会とのつながりを持つことができましたので、コロナが終息したらその継続を目指したいと思っています。そのためには YMCA ユースの働きが必要です。金沢 YMCA が休務に近い状態になっているので、再生を図るための手立てを考えなければなりません。金沢市内には 4 つの大学があります。それらの大学の学生に呼びかけて、まずユースの活動を援助する為、他県にある YMCA ユースとの交流会・学習会をもてるようお膳立てを考えたいと思っております。幸い今期中部部会が日和田高原キャンプ場で、名古屋 YMCA の YYY フォーラムとして実施されることから、日頃よくゲストとして例会に参加してくれている 20 代の若い人に一人でも二人でも参加を

呼びかけようと思っています。

会員のほとんどが第一線をリタイアし、年金生活に入っている現在、体力的、経済的に限界がありますが夢は大きくもって、若者も年配者もワイズ活動を楽しむことのできるクラブを作っていきたいと願っています。

名古屋クラブ会長 平野 実郎

誘い 誘われ 楽しむ
ワイズ -名古屋クラブ
そこに愛はあるん
か!?-



前年度に続き今期も延べ3期目の会長を務めます。西日本区全体を見てもコロナ禍の影響で例会やイベントが開催できない事例を多く聞きます。名古屋クラブもご多分に漏れず例会等の中止を余儀なくされています。2019-2020年度後半からZoomを活用した例会を開催していますが、完全リモートではなくハイブリッド形式での例会となっています。どうしてもリモート参加できない方がいらっしゃいますので、全員が参加できる条件にすればこの形しかありません。またYMCAの会館使用の制限等々考えれば致し方ないことではありますが、このような制限の中でも何かできるはずと思い名古屋クラブでは以下の活動を展開します。

- ・名古屋クラブ5か年計画作成
- ・新らしい例会のありかた
- ・他団体とコラボ
- ・新規事業

第一に名古屋クラブの将来を考えようと「名古屋クラブ5か年計画」の作成に取り掛かっています。会員増強を念頭に個人で出来る事とクラブ全体でできることを分け実践しようと動き出しました。第二に「例会のあり方を考えよう」。新しい生活様式を求められて久しいですが、ワイズメンズクラブも新たな活動様式を求められていると考えます。

集い・話を聞き・食事をして解散といった従来の形

とは別の参加型例会等を開催する。第三に「他団体とコラボしての活動範囲を広げる」。第四に「新規事業のスタート」とコロナ禍の状況下でも出来ることは多くあると信じています。力を合わせて知恵を出し合ってポジティブに進みます。

名古屋東海クラブ会長 山田 英次

ワンチーム

今回、三度目の会長を引き受ける事となりました、最初の会長の時は全くのスリーピング会員だった私を先輩メン



バーが叩き起こしてくれました、ハワイヒロクラブとのIBC締結式を王山会館(現ルブラ王山)で行い歓迎の挨拶をした事を思い出します。

さて、私は今回の会長主題を「ワンチーム」としました。少し忘れがちですが2019年ラグビーワールドカップ日本チームのジョセフヘッドコーチのスローガン「ワンチーム」を会長主題に決めました、これは、コーチ、選手、リザーブの選手、給水係、観客、テレビ観戦の人が一つとなって見事予選リーグを勝ち抜いたことから由来するものです。クラブも例外では有りません、会長、副会長、書記、会計、担当主事、その他の係の人が一つとなっていかなければクラブは成り立ちません、その思いで会長主題を「ワンチーム」と致しました。

東海クラブは現在広義会員2名を含め20名の会員数です、コロナ過で職業柄どうしても例会に出席出来ない1名を除けば毎月の出席率は常に90%以上を維持しており、例会も充実しています、とは言えどこのクラブも共通の悩みかと思いますがメンバーの高齢化は間違いなく進んでいます。そこで、この2、3年で私の友人を含め若いメンバーの獲得を目指します。

又、私はパソコンに詳しくなくリモートでの会議に不慣れなので中部の皆様にご迷惑をお掛け致しますが、今年一年宜しくお願い致します、そんな意味も

含め早くコロナが終息し対面での会議が一日も早く来る日を願っています。

名古屋南山クラブ会長 荒川 文門

歴史を紐解き前を見よう

2021～2022期の南山クラブ会長の荒川 文門です。昨季に引き続いての会長であり大した抱負、希望のなどありません。もともと南山クラブは50周年を機に発展的解散をしようと何年か前から話し合ってきたいきさつがあり解散が前提条件ですので希望など持てるはずがありません。昨季たった一人のチャーターメンバーの私にチャーターの責任を取れ、と言われて会長をお引き受けしましたが状況はあまり変わってないのもう一年ということでお引き受けしました。解散しようとしている理由は EMC が上手くいかず後継となる若い人を育てられなかったことが大きな原因の一つです。ワイズのモットーは「強い義務感を持つ 義務は全ての権利をとまなう」ですがその義務が果たせなくなりつつあります。部、区の役員、各種献金などの義務がもはやメンバーの高齢と数の少なさで果たせない状態です。よってこれ以上ワイズを名乗ることは許されることではないのでチャーター50周年を機に幕を閉じようと昨年度結論づけました。

しかしながらメンバー数は少ないといえ農場運営という大きなプログラムを持っていて、ワイズの「地域奉仕」「YMCA サービス」には、それなりの功績、業績を残していますのでワイズの幕引きとともにこれらのプログラムを止める気はなく何とか農場プログラムに特化しなお発展させよう、というのが南山クラブの「発展的解消」の意味なのです。そんなことを考えての一年でしたので、中部には迷惑ばかりかけていますし、これ以上の迷惑を掛けることになれば規定通り幕引きしなければなりません。ワイズ



に席を置けば義務としての諸経費も掛かりますしその分を農作物の苗代、肥料代に回せば少しは金銭的運営が楽になります。その義務も少人数クラブには過大な負担になります。また昨年一年コロナ、コロナで例会もままならず「らしい例会」もほとんど持てない状態でした。ワイズは例会第一、出席第一とずっと言われてきたのですが、例会無し、出席無しでもクラブとして成立するのではないかと思えるようになってしまいました。

もう何十年も芋掘りなどで農園に招待した幾つかの養護施設、障がい者施設など参加者、子供たちからは「ワイズのおじさん」と呼ばれていてワイズのネームバリューというかワイズは当然あるべきものと考えられているのも事実であり、今さら新しい形を作るほどの熱意もありませんので、もう一年この形で進んでみようか、という結論のもとに今期過ぎたいと思います。それゆえ新しい抱負、希望、EMC などへの対応などは考えられない状態ですので、この事情を鑑みよろしく一年お願いします。

名古屋グランパス会長 服部 庄三

YMCA に笑顔を。ワイズに笑顔を。そしてみんなに笑顔を。

今年度のクラブの主題です。活動を通して YMCA をサポート

し、そこに集うワイズも互いに高め合い、世の中のみんなが笑顔になれるよう今年一年頑張りたいと思います。1992年8月31日にチャーターしたグランパスは来年8月には30周年となります。30年間の総括をし、来期につなげていきます。支援を続けている名古屋 YMCA 日本語学校へも、昨年度はコロナ禍で数々の障害があり、思うように活動が出来ませんでした。今年度もいつ世の中が落ち着くかは、まだまだ不透明ですが計画、準備は進めていきたいと思っています。グランパスが主体となっている日和田キャンプ場での様々



な催しの協力も、名古屋の他クラブを巻き込んで引き続き活動していきたいと思ひます。

クラブ例会は可能な限り、卓話や勉強会など興味深いものにしたいと思ひます。また社会的には貧困家庭を支援するセカンド・ハーベスト等の活動への協力を模索したいと思ひます。

最後に今年度一年、他クラブの皆さんの支援協力をよろしくお願ひいたします。

とやまクラブ会長 清水 淳

リボンとやま、 あらたな第一歩

設立から3年目に入る今年度も富山 YMCA のサポートを中心に活動を進めていきます。

1. 例会の充実

メンバーの出席率を高めるとともに、新入メンバー候補であるゲスト出席者を募り活気ある例会を開催します。

2. 会員増強

旧富山クラブメンバーや YMCA に集う会員から新規会員を発掘しメンバー増強に務めます。

3. ワイズメンズクラブ知名度の向上

YMCA とイベントを共催または後援することによりワイズメンズクラブの名前を広く知ってもらえるよう活動します。

4. ユースとの連携

プログラムを通じてユースリーダーと接点を持つこと、リーダーOB とともに YMCA の活動に関わっていきます。

5. SDGs の理解と推進

例会で SDGs への理解を深め、YMCA と連携し活動を推進します。

まだまだクラブとしては脆弱で未熟ですが、コロナ禍に加え総主事不在の状態が続く中でも工夫と努力で乗り切ってきた富山 YMCA を支えていきたいと思ひます。



※中部各事業主査※

YMCA サービス・ユース事業主査 坂口 功祐



ワイズメンズの皆様、YMCA 発展のための日々のお働きに感謝申し上げます。

さて YMCA の柱でもありますキャンプ事業が昨今のブームに乗って子供たちの応募も多くキャンプリーターも増えて頑張っております。

現在学童キャンプも二期目となり多くのボランティアの支えながら日和田キャンプ場では子供たちの歓声であふれております。その後もお盆にかけて多くのファミリーも来ていただく予定です。

しかしながら、日和田キャンプ場も40年の老朽化がすすみ、建物不全や水回りのインフラの改善等課題は老朽化です。既に名古屋ワイズより日和田キャンプ場給水ポンプ保全のYサ・ユース事業資金援助申請書も提出されております。

しかしながら日和田の事業資金としましてはまだまだ不足していると考えます。

YMCA の柱事業のキャンプ場の状況を見て頂きご協力をお願いします。

今期はこれに特化してお願い致します。

地域奉仕・環境事業主査 清水 淳

〈事業主題〉

Let's do a volunteer activity Will that make more people happy
奉仕活動をしましょう その活動により多くの人を幸せにすることでしょう。



〈事業方針〉

世界各国で起きている災害、途上国ではマラリア、貧困、飢餓等で多くの幼い命が奪われています。コロナウイルスは未だに収束していません、この状況を少しでも支援するために、各種献金にご理解を頂き各クラブに支援活動をお願いします。

1. 献金については、理解度向上の為の(SDGS を絡めたアワー例会開催等)
2. ワイズデー 地域社会と共に(11月10日前後の土・日)開催のお願い
3. 国内に於ける災害復興支援の継続

〈事業目標〉

1. SDGs17 のターゲット 2030 年達成に向けての継続
2. 国際共同事業(UGP)ロールバックマラリア継続支援
3. CS・TOF・FF・UGP に於いて献金の意味を深める

CS 献金 1 人当たり 1,500 円

TOF 献金 1 人当たり 1,400 円

FF 献金 1 人当たり 800 円

UGP(ロールバックマラリア)1 人当たり 800 円

4. 西日本区大会における表彰基準

CS 献金クラブベスト 10(1 人当たり平均) 100%達成賞

FF 献金クラブベスト 10(1 人当たり平均) 100%達成賞

TOF 献金クラブベスト 10(1 人当たり平均) 100%達成賞

RBM 献金ベスト 10(1 人当たり平均) 100%達成賞

地域奉仕・環境事業に素晴らしい活動をされたクラブ 1クラブ

EMC 事業主査 太田 全哉

今期 EMC 事業主査を拝命しました。

ワイズ入会から、はや 5 年たちました。クラブの諸先輩の支えもあり、ワイズ活動の一翼を担う経験をさせていただきま



す。今期は早々に皆様に EMC 事業計画を作成していただき、感謝です。

今回、西本区事業計画書取りまとめの結果、増員目標率は西本区 120%、中部 110%となりました。各クラブ目標があり、温度差も感じられますが、皆様思いは同じであると思います。

私の所属クラブ 5 つの信条の中から好きな信条を紹介します。EMC 及び私が所属クラブで楽しんでいることにも繋がっている事です。

『義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう』
『会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう』

私はこの 2 つの信条と、何よりクラブ活動で楽しく参加できていることで、ワイズの一人であることを実感出来ています。

信条のなかの義務とありますが、『楽しむ義務』です(笑)

皆様に提案ですが、出来ることならメンバー 1 人につき 1 人会員増強が出来れば… と勝手に想像してしまいます。

初経験で若輩者ですが、会員の皆様の支援を頂きながらの主査を務めたいと思いますので、皆様の人脈を生かしていただき、今期会員増強にご協力ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

国際・交流事業主査 平野実郎

新しい友達を作って!

今期国際・交流事業主査を務めます名古屋クラブの平野です。

国際当クラブ・交流事業主任が当クラブの深谷聡

さんでもあり、全面的なバックアップをする所存です。以下、深谷事業主任の方針です。



【交流事業】

- 1) 新しい友達を作ろう
- 2) 他クラブ例会、イベント、東西日本区大会に参加しよう
- 3) アジア大会太平洋地域大会、国際大会に参加しよう
- 4) YEOP・STEP事業を推進しよう

所属するクラブ例会だけではなく他クラブの例会に出席して、新たな友人・知人を作りませんか。今期中部部会は岐阜県日和田高原名古屋YMCAキャンプ場で開催されますので出席ください。また、他の部会に参加することも大変楽しい物です。他の部に友人・知人がいらっしゃる方々はクラブメンバーを誘って参加してください。今期の西日本日本区大会は岡山で、東日本区大会は宇都宮で開催されます。ワイズは交流してこそ楽しさが倍増します。遊びに行きましょう。また、YEOP・STEPの活用もお考え下さい。

【ファンド事業】

- 1) BF・EFの目的理解を深め協力を求める
最近メール等の活用で切手の使用が少なくなり、また使用済切手の換金率が低くなって久しく、使用済み切手の換金より送料が高くつくとお嘆きを耳にしますが「無から有」の精神を大事にしてご協力ください。そして個人でもクラブ内でもBFやEFについて理解を深めてください。中部よりBF代表が選出されることも最近は無く、どうぞBFデリゲートに名乗りをあげてください。申請をご希望される方は気兼ねなく私にお問い合わせ

わしてください。

しかし昨今のコロナ禍の影響で、直接集いあう交流ができない状況ですが、ネット環境が整えばリモートでの交流が簡単にできる世の中になっています。お互いに知恵を出し合い新たな「ワイズ活動様式」探しましょう。

メネット事業主査 数澤淑子

病氣と闘う子どもたちに ウィッグを贈ろう!



今期中部メネット事業主査を担当させていただくことになりました。よろしく願いいたします

す。コロナ禍が猛威を振るうなか、昨年度の部会は中止となり、西日本区大会もオンラインでの参加となりました。今期は中部部会が自然豊かな名古屋YMCA 日和田高原キャンプ場で開催が予定されており、久しぶりに中部の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

さて、2021～2022年度のメネット事業は「ヘアドネーション事業」(医療用毛髪を贈る事業)として小児がん、先天性無毛症、不慮の事故などで頭髪を失った子どもたちに無償で医療用ウィッグを贈る活動です。病氣と闘い、さらに頭髪で悩む子どもたちに喜んで頂きたいという願いを込めた事業です。皆様のご協力をお願いいたします。この活動には美容院のご協力が必要不可欠です。ぜひご協力いただける美容院にポスターの掲示をお願いしてください。ご寄付頂いた毛髪はクラブから下記にお送りいたしますようお願いいたします。

*美容院に掲示して頂くポスター、案内などは、後日事業主任から新たに届く予定です。

*寄付して頂く髪の長さは31cm以上です。(15cm～31cm未満は7月末で終了)

期間は2022年3月末日です。

*ヘアドネーションについて、「つな髪」で検索頂き、活動支援の内容をご理解くださいますようお願い

いたします。

〈毛髪の送り先〉

(株)グローイングつな髪

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 3-3-45 マ
ルイト西梅田ビル 5F

情報委員会委員長 荒川 恭次

全てのワイズに情報の 共有を目指して



新型コロナ禍は私たちに大きな悪影響をもたらしました。特に感染防止対策から対面交流の場はどんどん無くなり、対面例会の開催はここ一年でほぼ無くなったのではないのでしょうか。しかし、黙って耐えてじっとしているワイズは居られませんでした。オンラインの活用です。メールは当然の事、SNS・FaceBook・LINE等情報交流の方法は多々ありますが、映像通信の普及には驚きました。今やクラブ例会はZOOM開催が当たり前で、YMCA大会、西日本区大会、アジア大会までもがZOOM開催です。地球規模で同時刻を共有でき交流できることは、2～3年前ではここまでの普及は想像すらできなかったことです。新型コロナは大迷惑な存在ですが、それに負けない知恵も与えてくれました。

中部HPも各クラブのブリテン等情報発信を継続していますが、HP本体のメンテナンスが追い付いていません。中部の皆様の暖かい眼差しを感じつつ改善してまいりますので、この一年もご協力・ご支援よろしくお願い致します。

中部監事 小林滋記

何をしますか？



新しい年度が始まりましたが、やはり前年度とあまり変わらずなかなか先が見通せないもののワクチン接種で少し希望が有りますが、行動の制限が緩やかになるのが秋なのか冬になるのか分かりません。それまでは前年度に倣って行くかと思えます。そんな中でも新しい試みをどんどん取り入れてもらいたいです。

私は素人で詳しいことは分かりませんが、例えば中部のホームページに動画を取り入れことはできないのでしょうか。部長通信で渡辺中部部長が語りかける・グランパスクラブの日本語学院の学生との交流風景・南山クラブの農園の様子など、色々な発信で中部のことがより身近に感じることが出来るのでは・・・。技術、費用等問題はありますかと思えますが何か新たなことにチャレンジしましょう。

※部長キャビネット※

事務局長 谷川 修



今期、事務局長を仰せつかりました。もともとは、部会の実行委員長として早くに指名を受けておりました。部則をひもとくと、中部はきちんと事務局長を置くこととなっているため、実行委員長と合わせて、事務局長も兼任することとなった次第です。書記の川本ワイズが、その役目をしっかりと果たしてくれるし、部長も自ら積極的に動かれるので 事務局長という看板だけ背負っている感じがしております。

部会は、コロナ感染の再びの拡がりを受けて、蔓延防止重点措置が再発令され、実施できるのかと不安な中にいます。しかし、名古屋 YMCA の中村総主事曰く「国の言動はメチャクチャ、もう素直に従う気持ちになれない。キャンプ場は行楽地とは違って密は避けられるし、自宅という点とキャンプ地という点を結ぶだけであれば、心配するようなことはない。だから、予定しているキャンプは実施する。」との言葉に勇気づけられ、何とか 実施したいと願っています。皆さんと久方ぶりに会えること、灼熱地獄の都会を離れ、自然豊かで涼しい環境の下、親睦が深められる事を願ってやみません。

書記 川本 龍資

クラブ間の交流を深めよう!

今期、中部書記を務めます名古屋クラブの川本です。各クラブの会員増強が中々ままならない状態が続いています。各クラブのブリテンを拝見するとき、各クラブが本当に素晴らしいYMCAサービス事業や地域奉仕環境事業を展開されていることに気づきます。クラブの垣根を超えて各クラブの例会やプログラム、YMCAの会員プログラムなどに参加し、これらを通じて今より更に中部のメンバー間の交流が深められるようにできる仕組みが作れたら・・・と思っています。面白いものに人は集まります。各クラブが情報を共有し、楽しみ・喜びを共に味わうことで、まずはクラブメンバーの活性化から始めていきましょう!

最後に、書記としてのお願いです。決められた期限は是非お守りくださるよう、何卒よろしくお願いいたします。

会計 戸田真二

皆さん、初めまして。ワイズ歴 1 年で、今期中部会計となりました。右も左も分からないまま役を引き受け戸惑うばかりですが、渡辺部長からのラブコールに是非とも答えたいと思っています。皆さんに助けられ会計の役を全うしていく所存であります。コロナ禍にあっては今期も活動の制限を受けることにより、難しい局面もありますが、様々な計画の一つひとつのプロセスを大切に、実りある一年となることを願っています。

